

このミーティングは、安全性を最優先とし、モータースポーツを家族や友人と日常のものとして行楽気分楽しんでいただければ幸いです。

大会規定

●参加車両

- 各クラス共、3点以上のシートベルトを義務とし、4点以上が望ましい。オープンカーは4点以上を義務とする。
- ロールバーの装着は望ましい。オープンカーは3点式以上の取り付けを義務とする。
- 降雨の際、スリックタイヤ装着車両は競技長判断によりタイヤ交換を指示する。
- 灯火類は全ての前部に飛散防止のテーピングを施す事。
- 燃料タンクはノーマル又は35Lまでの安全タンクとし、給油口はマフラー出口方向を避けフューエルラインは安全を確保する事。
- ゼッケンはボンネット及び左右ドアに太さ5cmの黒色数字又はボディー補色で記入する。希望ゼッケンは第2希望まで受け付ける(重複の際は入金順とする)。尚、シリーズ戦のゼッケンは1年間有効とし、チーム名とあわせて登録する。
- ヘルメット(FIA公認)、グローブ、シューズ、ウェア(FIA公認、非公認問わずノーマクス素材を使用したもの)を使用する事。
- 出場車両及びドライバーの変更は、参加受付時まで大会事務局に申し出る事。

●参加受付

- 参加者は、タイムスケジュールに記された時間内に、参加受理書、誓約書、運転免許証のコピーを提出の上、参加確認を受けること。
- 参加者は、タイムスケジュールに記された時間内に、必ず車両検査及びドライバーズブリーフィングを受けなければ走行できない。
- 出場ドライバー全員は、レース当日主催者側の指定する保険に加入しなければならない。ピットクルーの加入も望ましい。

●スタート手順

- スタートはフォーメーションスタートとし、グリッドは各クラスとも予選順とする。
- グリッド整列は各チームに於いてコース上安全に誘導し整列する事。
- フォーメーションスタート5分前迄にグリッドに着き、3分前にドライバー及びオフィシャルを除き全員コースから退避する。その後、3分、1分、30秒前の表示がなされ、グリーンフラッグによりフォーメーションがスタートする。スタートできないドライバーは腕を高く出して合図する事。
- フォーメーションラップ1周後、スターティンググリッドに停止し、**赤色ランプ点灯後5秒以内に赤色ランプの消灯でスタート**。スタート出来ないドライバーは、腕を高く出して合図する事。(特例とし、全車スタート後ピットスタートも終了した時点でピットまでの押しがけを認める。それでもスタートできない場合はピットへ戻される。いずれも安全の為オフィシャルの指示に従う事とする。)

●反則規定(ペナルティーストップ)

- フライングや、その他の違反を犯した車両に対し黒旗とゼッケンがメインポスト下に提示される。当該車両はピットに入り、オフィシャルの指示によりピットロードにて指定時間のペナルティーストップの後、走行に復帰できる(ペナルティーストップ中、如何なることも出来ない。)
- オレンジディスク、黒旗が提示されたチームは、ピットインのサインを出す事。

●入退場(コースインコースアウト)

- ピットインする際は、合図を出しながらピットロードに進入する事。
- ピットアウトする際は合図を出しながらコースへ合流する事。
- ピットイン及びピットストップ後のコースインは全てピットロードエンドの青色信号又はオフィシャルの指示に従う事。
- フルコースイエロー等ペースカー先導時はペースカーの指示のあった車両以外はペースカーを追い越してはならない。
- フルコースイエロー中のピットインはドライバー交代及び車両の点検は許される。コースインの際はピットロードエンドのオフィシャルの指示に従いコースインする事。
- チェッカーフラッグが振られる前にパドックへ車両を入れた場合はリタイヤとなる。

●競技中の厳守事項

- レーススタート後、コース上は如何なる場合も逆走してはならない。
- 故意に他車両の走行を妨害してはならない。又、事故発生が予想される危険行為とみなされた場合、即刻コース外へ排除される。
- コース上で走行不能となったドライバーは、速やかに車外に出て安全な場所で待機する事。
- フラッグ無視のペナルティに対する抗議は一切認めない。

●走行終了

- 走行の終了は、規定の走行時間経過後或いは規定の周回数を終了後チェッカーフラッグにより示される。
- 走行時間には赤旗による中断時間も含まれる。

●その他の事項

- 優勝者はスタート後規定時間又は規定周回数を終了した時点でチェッカーフラッグを受けた先頭車両とする。優勝者以外の順位は達成された時間又は周回数とゴールライン通過順位とする。
- ドライバー交代及び整備の際は必ずエンジンを停止する事。
- ピットストップの際エンジンが再始動しない場合は、ピットロードエンドまでの押しがけを認める。
- 耐久レースは走行時間内に1回以上のドライバー交代をする事。ドライバーが1名の場合はピットインしてエンジンを停止した上で、車外へ出てヘルメット、グローブの脱着は行わず乗降する事でドライバー交代とみなす。
- 走行時間内の給油は禁止する。
- 牽引フックは必ず装着して下さい。スポイラー装着車両は牽引フックが覆われないよう取り付けてください。
- パドック整列後の給油は各自携行缶を用いて行う事。
- 軽自動車ストッククラス入賞車両の再車検を行う場合は、走行終了後車両保管となります。
- レーシングスーツは、耐火耐熱構造(ノーマクス素材使用)のスーツ装着が義務となります。
- レーシンググローブは、FIA公認のものを推奨します。素手、軍手、作業用手袋などは不可です。
- レーシングシューズは、FIA公認のものを推奨します。また、運動靴は可ですが、サンダルは不可です。
- フェイスマスク、アンダーウェアはなるべく装着してください。FIA公認のものを推奨します。
- 車両の音量規制値は全クラス120db以下とする。測定方法は全車、最大出力回転数の75%とする。
- 参加車両は中間パイプ・消音機能を持つサイレンサーを装着した車両とすること。

●特別事項

- 以上の項目に違反したり、マナー並びに大会の主旨にそぐわない行為を継続した場合、大会委員長裁定により排除する事ができる。